

ひめラー募集要項

応募条件

●18歳以上の方(2026年4月1日現在)で、日本語で日常会話ができる方

●アート(文化芸術)やコミュニケーションに関心があり、積極的に学び、愛媛県内で活動する意欲のある方

●art venture ehimeの趣旨に共感して活動できる方

●2026年4月～6月の基礎講座 全6回に参加可能な方

基礎講座日程

2026年4月11日(土)、4月18日(土)、5月9日(土)
5月23日(土)、6月13日(土)、6月27日(土)

※いずれも時間は10時～15時予定

●2026年6月以降、月2日以上活動に参加可能な方

※2026年6月からの実践講座での活動を含む[全10回程度を予定]

●インターネットにアクセスでき、Eメールでの連絡、Googleカレンダーなどのウェブツールの操作及び使用が可能な方

選考スケジュール

① 応募受付期間 2025年12月23日(火)～2026年2月15日(日) ※当日消印有効

② 1次選考 書類審査 選考結果は2026年2月27日(金)発送で応募者全員にお知らせします。

③ 2次選考 面接審査 面接審査は2026年3月14日(土)・15日(日)のいずれか1日、松山市内で行います。
※選考結果は2026年3月27日(金)発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

募集人数
20名

応募方法

以下の①～③の書類を郵送してください。

①「アートコミュニケータ応募用紙」に必要事項を記入してください。

※応募用紙はアートベンチャーエヒメ公式WEBサイトよりダウンロードしてください。

<https://artventureehime.com/>

「ひめラー募集!」
ページはこちら▶

art venture ehime
公式WEBサイト



応募書類郵送先

〒790-0042 愛媛県松山市保免中3-4-27 art venture ehime アートコミュニケータ募集担当宛

※提出いただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。

※応募者の個人情報は、アートコミュニケータの選考に関すること以外には一切使用しません。



活動条件

●アートコミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等、学びのコミュニティに無料で参加できます。

●アートコミュニケータの登録期間は1年単位とします。2年目以降は本人とart venture ehime双方の合意のうえ登録更新し、最長3年間とします。

●art venture ehimeの公式WEBサイト等の閲覧や、Eメールでの連絡ができること。

●活動場所となる施設等での活動に参加できること。主な活動時間は土日祝日の10時～15時の間です。講座や実践活動は文化施設や街中などの愛媛県内各所で行います。

活動場所

愛媛県庁や愛媛県美術館、とべもり+(プラス)、アシックス里山スタジアムなど、愛媛県内各所で行います。

art venture ehime フォーラム

「ここにある豊かさ」を詠む

“アート×愛媛”でつむぐ未来

2024年からスタートした「art venture ehime」では、アートコミュニケータ「ひめラー」が、アート(文化芸術)を介して人と人、人と地域をつなぎ、県内各地で新たな価値や関係性を生み出しています。2025年10月には、その取り組みを広く共有するために、新しい形のアートフェスティバル「art venture ehime fes 2025」を開催し、ひめラーが参加アーティストの伴走や地域でのナビゲート役を担うことで、多様な資源やつながりが新たな形で記憶されていくプロセスが各地で生まれています。本フォーラムでは、フェスティバルの記録展示や夏井いつきさんによる句会ライブ、ひめラーとのコミュニケーションを通じて、“ここにある豊かさ”を捉え直す体験をつくります。単なる報告会ではなく、来場者自身の“気づき”や“発見”が生まれる参加型の構成とし、句会・展示・対話を組み合わせながら、自分なりの“ここにある豊かさ”を見つけていく場とします。

2026
1.31土

会場 砥部町中央公民館

定員 300名 定員になり次第締切いたします。

●手話通訳あり

※アートベンチャーエヒメ公式WEBサイトにて、トークセッションのみ後日公開いたします。

参加
無料

お申込方法

お申込フォームURL/
二次元コードから
お申し込みください。
※事前申込制/先着順となります。



申込期限 | 2026年1月25日(日)

夏井いつき句会ライブ

「ここにある豊かさ」を詠む 13:00～15:00 [予定]



「art venture ehime fes 2025」の作品公募において審査員を務められた俳人・夏井いつきさんをお迎えし、本フェスティバルをテーマに、句会ライブを行います。俳句を通じて自分の体験や内側にあるものを引きだし、生き生きと語りあうプログラムです。

登壇者 夏井 いつき(俳人・俳句集団「いつき組」総長・エッセイスト) / 日比野 克彦(東京藝術大学 学長)

トークセッション

“アート×愛媛”の未来を語る 15:10～16:00 [予定]

アートコミュニケータ「ひめラー」は誰と出会い、何を見て、何を聞き、どのような「豊かさ」を共有してきたのか。本セッションでは、art venture ehimeの実践を通して生まれた気づきや関係性をひもときながら、アートコミュニケーションが日常や地域にもたらす効き目、そして愛媛の未来へどのようにつながっていくのかを語り合います。



愛媛県知事
中村 時広



東京藝術大学 学長
日比野 克彦



俳人・俳句集団「いつき組」総長
エッセイスト
夏井 いつき

アートコミュニケータ「ひめラー」2名

聞き手 二宮 敏 (art venture ehime プロジェクトマネージャー)

art venture ehime fes 2025 記録展示

アートコミュニケーション ミュージアム ～記録と記憶の結び目展～

art venture ehime fes 2025の取り組みを、写真・映像・資料など多様なかたちでまとめた展示を行います。ひめラーやアーティスト、地域の方々の視点や体験が交差する“アートコミュニケーション ミュージアム”として、各地で生まれた出来事や関係性など、プロセスを立体的に振り返ります。



© art venture ehime fes 2025 / Mikuni Yutaka & Keisuke Takahashi (off-Nishio)

お問い合わせ

●「art venture ehime」事務局(株式会社NINO)
TEL.089-995-8783 FAX.089-995-8784 contact@artventureehime.com
●愛媛県観光スポーツ文化部 文化局 文化振興課 TEL.089-947-5581

■主催：愛媛県・東京藝術大学 ■共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
■企画・運営：愛媛県×東京藝術大学連携プロジェクト「art venture ehime」



2026年度[3期]

ひめラー募集!

募集人数
20名

愛媛で活動する「アートコミュニケータ」を「ひめラー」とよびます

締切 2026.2.15日

※当日消印有効

art venture ehime

愛媛県×東京藝大 / art venture ehime
art venture ehimeは愛媛県と東京藝術大学と県民が連携して行うプロジェクトです。

アートベンチャーをはじめよう。

art venture ehimeとは？

「art venture ehime(アートベンチャーエヒメ)」は、アート(文化芸術)を介して人と人、人と地域をつなぎ、そこから生まれる新たな価値や関係を社会に広げ「愛媛の未来を創造する」アートコミュニケーションプロジェクトです。

少子高齢化に伴う人口減少が進むなか、福祉、スポーツ、観光やまちづくりなど様々な領域にアート(文化芸術)を掛け合わせ、地域が抱える課題に愛媛県と東京藝術大学と県民が連携して取り組んでいます。

プロジェクトの主体となるのはアートコミュニケータ「ひめラー」です。多様な背景をもつ人々が集い、アートを介したコミュニケーションづくりについて学びながら、人や地域を結びつけるアートコミュニティを育むことで、ひめラーの活動が「地域の処方箋」になっていくことを目指します。

art venture ehimeは
愛媛県と東京藝術大学と県民が
連携して行うプロジェクトです

未来につなぐえひめチャレンジプラン
愛媛県総合計画

東京藝術大学を中核とする
共生社会をつくる
アートコミュニケーション共創拠点

よくある質問 Q&A

Q どんな活動をするの？

- 人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場(コミュニティ)づくり
- 作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム
- 愛媛県内の文化資源や地域コミュニティと連携した活動
- 医療や福祉(児童、障がい者、高齢者など)、スポーツと連携した活動
- 「とべもり+(プラス)」や「アシックス里山スタジアム」と連携した活動

皆さんの興味のある活動を、仲間のひめラーとともにアートという新しい視点で取り組むものです。

Q どんな人が参加してるの？

会社員・教員・主婦(夫)・学生・フリーランサー、退職後の方など様々。
多様な背景や興味関心をもつ人が集い、対話を重ねることで活動の可能性が広がります。

「ひめラー」の活動イメージ

ひめラーは、講座で学び、気づきを振り返り、現場で実践し、仲間と集いながら活動を育むサイクルを積み重ねながら、人や地域を結びつけるアートコミュニティを育みます。ひめラーとしての活動は最長3年間。その後は、プロジェクトの外へ活動の場を更に広げ、県内各地のフィールドで自発的に「アートで人々がつながるまち」を創っていくことを期待します。



東京藝術大学 学長 日比野克彦氏からのメッセージ

アートは冒険だ！

まだ見ぬ先を見に行こう！

ひとりひとりの形の山がある。

ひとりひとりの流れの川や海がある。

となりの山にのぼってみよう。

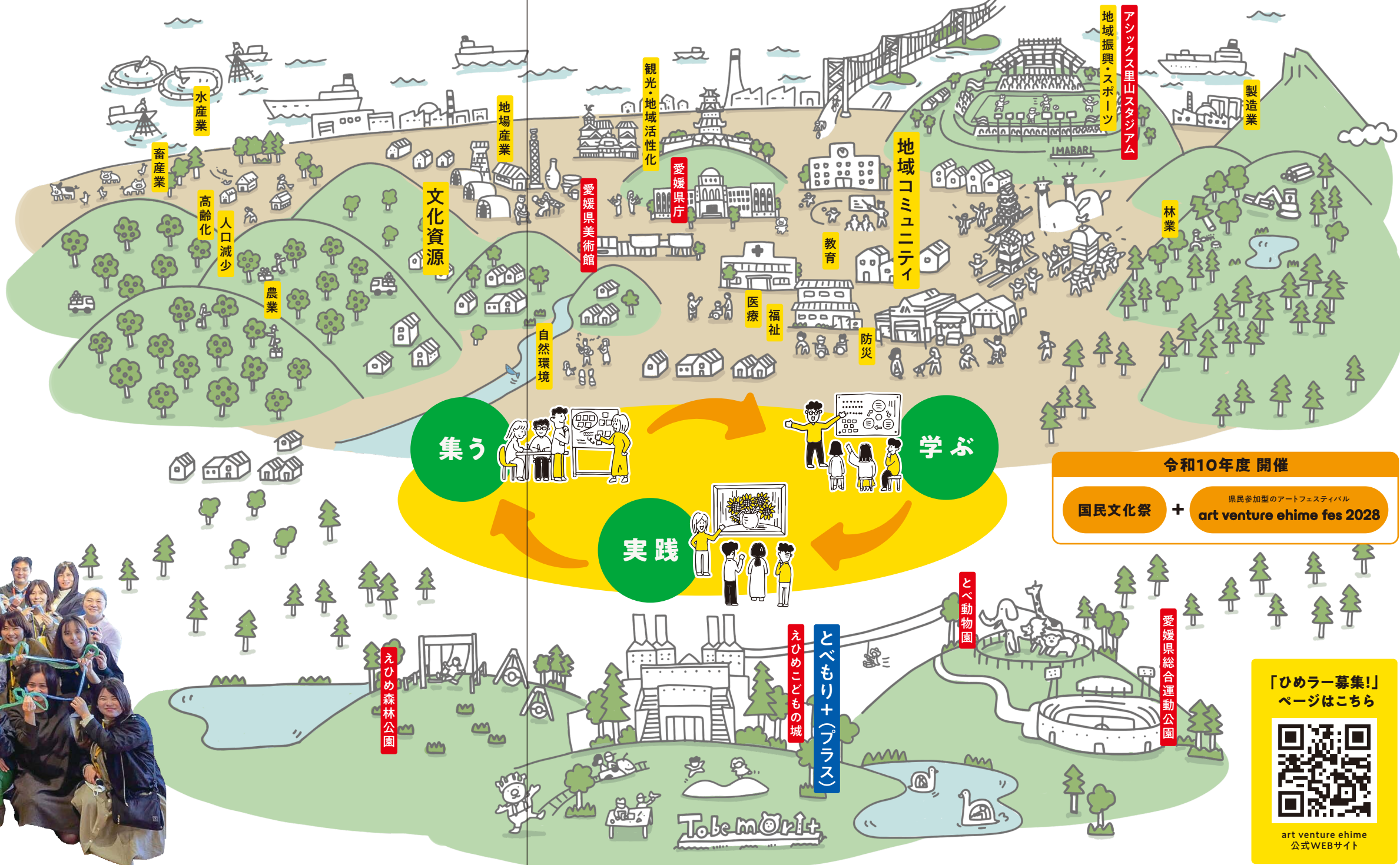
麓の川で舟を作ってみよう。

その先に見えてきた海へ！

人と会えば世界は広がる。

アートが人を広げてくれる。

さあ！アートベンチャーに出かけよう！



学ぶこと・実践すること

まずはじめに！

基礎講座

2026年4月～6月 全6回

活動を進める方法や対話の場づくり、アートを介したコミュニケーションとはどのようなかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方を、ディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。



全6回にわたり、新しいコミュニティづくりの基本を学ぶ基礎講座



いよいよ実践！

実践講座

2026年6月～2027年2月(予定)

愛媛県内のさまざまな文化芸術資源を題材に、モノやコトをよくみるための方法や、活動のフィールドについて、実践的な場面を想定した学びを深めていきます。実践を通して気付いたことや疑問なども振り返り、対話を重ねて進めていきます。



鑑賞実践講座



アクセス実践講座



プロジェクト実践講座



集うこと・育むこと

アイデアを育てよう！

ひめラボ

基礎講座や実践講座で学んだことや、それぞれの得意なことを持ち寄り、ひめラーの仲間と一緒に地域社会に飛び出して様々な活動を展開します。



「建築を穴が空くほど見てみたい」ラボ

建築を題材に、写真と実物を交えながら「穴が空くほど見る」対話型鑑賞を実施。参加者同士でその背景や想いをじっくり味わいました。



「ひめラーみんなの拠点訪問ツアー」ラボ

ひめラーの地域や活動拠点を訪ね、魅力を発見したり、アイデアを共有し合う企画。第1回は西条市丹原町で実施しました。



「今治になに？まち歩き」ラボ

丹下健三による建築群から、広小路、海までの都市設計を体感。当時の構想に思いを馳せつつ、今の街の姿を参加者とともに楽しむまち歩きを行いました。

art venture ehime fes 2025 との連携プログラム

2025年10月18日～11月3日に開催した「art venture ehime fes 2025」の開催に向け、ひめラーがフェスティバルを展開する地域の歴史、文化、関連施設を取材。その場所に関わってきたキーパーソンに話を伺い、それぞれの魅力を深掘りし、アートコミュニケーションブックを作成しました。また、アーティストの制作やリサーチにも伴走し、地域との関係性の構築などを行い作品制作を共にかたちにしていきました。



取材の様子



アートコミュニケーションツアー(現地会場説明会)の様子